

# NTK てっこう長野 Vol.43

2023年1月

製作:長野県鐵構事業協同組合  
E-mail: jim2014@na-tetsu.jp

TEL.026-262-1595  
FAX.026-262-1597



写真提供:(株)一陽鐵建社 横澤 直人氏 提供



2023新年理事長あいさつ .....	2
顧問県議と行政との懇談会 .....	4
組合表彰者の紹介 .....	10
組合員だより(東信支部) .....	11
理事会、委員会だより .....	12
Mグレード部会だより .....	13
青年部会だより .....	14
工場認定申請及び予定状況 .....	15
工場認定申請手続きと組合員の動き .....	16
令和4年度前期技能検定について .....	17
組合からのお知らせ(創立50周年記念、訃報) .....	18
編集にあたって/表紙のことば .....	19

## 理事長あいさつ

### 組合設立50周年～未来に向かって



長野県鐵構事業協同組合  
理事長 倉科 賢三

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員並びにご関係各位の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと拝察いたします。平素は当組合の事業並びに会員企業に対しご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は皆様ご承知の通りロシアのウクライナ侵攻、コロナ禍、物価高騰、さらに年末突如の

防衛費増額による増税決定等、いつもに増して目まぐるしい一年でした。皆様におかれましては様々に創意工夫しながら事業経営されていることと思います。

鋼構造ジャーナルによれば2021年、2022年とも推定鉄骨需要量は約460万トンで、本年の需要予測も同程度の460万トン前後となっているようです。そして今年後半からは再開発案件が動き出し、24年～27年にかけてピークを迎える。という見方のようです。

また、各案件の大型化、重量化が一層進んでいるようで私どもの会社におきましてもこの傾向を強く感じます。その対応のためファブ同士の協力体制構築が進んでいるようです。半面、加工のスケジュールや現場対応に齟齬をきたした場合は複数のファブが同時にその影響を強く受け「手待ち」、「手戻り」等が発生し各社の業績に深刻な影響を及ぼす状況に陥る可能性も感じています。

2023  
TEKKOU  
NAGANO



## 理事長あいさつ

このような状況の中、本年は全構協並びに当組合設立50周年となり、それぞれ記念事業を予定しています。先人たちが築いてきたことを振り返り、我々の未来を考える絶好の機会だと思います。

長野県鐵構事業協同組合の50周年記念式典は通常総会と併催とし、5月26日(金)メトロポリタン長野において開催します。またその後、年末位を目安に記念誌の発行を予定しています。皆様今からそれぞれご予約いただき、全組合員皆様のご参加、ご協力をお願いします。記念事業の内容はいたずらに華美になることなく、皆様が自社の未来を考えられるようなものになりたいと考えています。

この先を考えると短期的には需要と供給のバランスが比較的安定し、企業経営は成立しそうにも思われますが、長期的には少子高齢化による生産年齢人口減少そして社会活動・地方の衰

退化という大きな問題が待ち受けています。この避けては通れない課題に向き合い自社の将来を切り拓いてゆくこと。そしてその過程に当組合の存在価値が問われてくると考えています。

我々中小企業は一つ一つの単体では大規模企業に食われてゆく運命にあると思います。しかしその小さな組織の強みを生かせるような取組み、そして人材採用と育成はますます各社にとって重要な課題となってきそうです。その“解”は各社により違ってくるとは思いますが、当組合の事業がその“解”を導き出すためのヒントとなり、また行政や、請負上位企業への働きかけによる業界環境の改善に寄与することを目指して取組んでまいりたいと思います。

最後にご関係皆様のご健康とご多幸を祈念し、当組合活動へのご理解ご協力をお願いして新年の理事長あいさつとさせていただきます。



## 顧問県議と行政との懇談会

### 令和4年度 顧問県議と行政との懇談会 3年振りの開催

1月25日(水)「長野ホテル犀北館」にて

令和2年の1月に開催してから新型コロナウイルス感染の拡大により開催を見送ってきました懇談会ですが、今年度は感染防止対策を行いながら3年振りに開催する事ができました。

久々の開催ということで、事前の理事会にて感染対策他、入念な打ち合わせの元、ご出席を賜りました顧問県議と長野県建設部担当者をお迎えし審議いたしました。

今年度は顧問県議と行政側に業界の事をよく理解して頂く場としたいという思惑から、業界専門誌の鋼構造ジャーナルの編集長、大熊氏に講演して頂きました。

懇談会での審議を終えると、顧問県議の皆様、長野県建設部の皆様、報道関係の皆様、組合相談役の参加にて新年会が行われました。懇談会での真剣な眼差しからガラリと変わり、和やかな雰囲気での歓談となりました。

懇談会での審議における質問と回答については、この紙面にてご報告させていただきます。

●開催日 令和5年1月25日(水)

●開催場所 長野ホテル犀北館

〔理事会〕 13:30～14:30 宴会場 WEST

〔懇談会〕 14:45～16:15 宴会場 EAST

〔新年会〕 16:20～18:30 宴会場 WEST

#### 〔顧問県議〕

風間 辰一 県議 (北信)

石和 大 県議 (東信)

萩原 清 県議 (中信)

佐々木祥二 県議 (南信)

#### 〔行政出席者〕

長野県建設部 建築技監兼建築住宅課長

塩入 一臣 様

施設課長

久保田達也 様

建築住宅課 主任専門指導員

塚本 哲 様

#### 〔講演〕

株式会社 鋼構造出版

常務取締役 大熊 稔 様



## 顧問県議と行政との懇談会

### 青木運営委員長より

①現在我が国においては少子高齢化が急速に進行し、同時に生産年齢人口の減少が進んでいます。このような中で我々建設業においては技術者、技能者の不足が起きています。(他業種も同様かと思われませんが)長野県としてこの問題をどのように認識し、取り組んでいるのかお聞かせください。

### 長野県建設部 回答

- ・ 県では、令和2年(2020年)3月に就業促進と働き方改革を進めるための取組の方向性を示した「長野県就業促進・働き方改革基本方針」と各構成団体の具体的な取組をまとめた「長野県就業促進・働き方改革アクションプラン」を決定しました。
- ・ 建設業については、長期的な就業者数の減少、高年齢化と若手比率の低下の進行により、今後、高年齢者の退職による深刻な担い手不足や、専門的技術の継承困難が想定されており、旧3K(きつい、汚い、危険)から新3K(給与、休暇、希望)への転換を図るため、「建設産業の持続的経営安定と労働環境の更なる改善」、「若手人材の育成と技術継承」、「ICT等を活用した建設産業の生産性向上と更なるスキル向上」等に取り組むことが示されています。
- ・ さらに現在、令和5年度にスタートする次期総合5か年計画の策定を進めており、その原案においては、新しい時代に向けて、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を横断的に特に進めていく必要がある政策をピックアップし、8つの「新時代創造プロジェクト」として取り組むこととしております。

- ・ この「新時代創造プロジェクト」の一つとして「人口減少下における人材確保プロジェクト」を掲げており、プロジェクトの方向性として、働き方改革による環境整備や多様な人材の活躍が進み担い手不足が解消している社会を目指すこととしています。
- ・ プロジェクトを達成するための「リーディングアクション」の例や具体的な構成事業等については、今後検討を進め、計画案に反映される予定です。
- ・ 建設部においては、次世代を担う人材確保に向けた取組として、生産性向上や働き方改革などの新たな建設業の姿を発信しながら、関係団体との協力により、建設系学科の高校生を対象に、実際の建設現場を自ら一連のプロセスを実践する機会の提供や更に若い世代の中学生に「職場体験学習」と連携した魅力発信の取り組みを行っています。
- ・ 引き続き、担い手の確保・育成に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

### 倉科理事長より

「建設産業の持続的経営安定と労働環境のさらなる改善」、「若手人材の育成と技術承継」、「ICT等を活用した建設産業の生産性向上と更なるスキル向上」⇒ 抽象的な表現でなく、具体的な取り組みをお願いしたい。例として若手人材の採用や資格取得の取り組み、実績を上げている企業に対して補助金を支給する等

### 長野県建設部 回答

ご提案のあった内容を踏まえ、人口減少下における人材確保について、部局横断で取り組んでまいりたい。

## 顧問県議と行政との懇談会



### 青木運営委員長より

②同様に不足する労働力の確保について外国人労働者（技能実習生等）の採用により対応しようとしているFABもあります。

しかしながら現状鉄骨業としては「特定技能外国人制度」については対象業種として認められておらず、長期の滞在が不可のため日本に来る外国人も他業種へ流れる傾向にあります。

長野県として何か対応、支援等お考えいただけないでしょうか？

### 長野県建設部 回答

- ・ 県では、新たに外国人材を受け入れる企業等を支援するため「長野県外国人材受入企業サポートセンター」を設置しています。
- ・ 専門的知識を持った相談員（申請取次行政書士）が、外国人材の受入れをお考えの企業・団体の皆様のご相談に無料で対応しています。
- ・ 国においては、外国人の受入れ制度の改定を検討する「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」を設置し、12月14日に第一回の会議を開催しました。

- ・ 今後、有識者会議において両制度の施行状況を検証し、課題を洗い出した上、外国人材を適正に受け入れる方策を検討されるものと考えておりますが、県としましては、外国人材の安定的、持続的な受入れが可能となるよう制度の改定を要望してまいります。

### 倉科理事長より

「長野県外国人材受入企業サポートセンター」について長野県のホームページでもその存在は確認できるが、具体的な利用実績、事例等についての紹介がない

「外国人の円滑かつ適正な受け入れに関するアクションプラン」において「建設、製造業」に対する記述がない。これでは当業界に対して取り組んでいることにはならないのではないかと？

### (有)アオキビルド 青木久隆理事より

7、8年前から技能実習生を当社に受け入れている。何年か前に特定技能も受け入れられるという事で期待していた。ところがふたを開けてみたら、結局「この業界はとれません」という話であった。何が問題かというところ、自分たちもそうなのですが、この業界は建設業なのですけれど製造業と言われるものが多く多いのです。むしろ製造業の方が仕事のパーセンテージが多い。

国交省の方で特定技能の話が出るが、それは実際現場についてだけで、工場加工の方は経産省の区分になってしまうと言われ、全然先に進んでいかない。そこが問題になっている。

今後そういった支援策とかなどを行っていく

## 顧問県議と行政との懇談会

上で、工場加工（製造業）の分類になってしまいが、最終的には建設の方にも関わって物を作っているという考えなので、国交省の範囲とか経産省の範囲などというような変なくくりでは無く、全体で支援策を考えて頂きたい。

### 長野県建設部 回答

ご意見、ご提案のあった内容について関係部局と共有させていただきます。

### 青木運営委員長より

③昨年来諸物価値上がりに伴い、我々の使用する鋼材、各種資材等についても同様に急速な値上がりが起きています。建設元請け会社の中には顧客に転嫁できないことを理由に我々専門業者に一方的に負担を求める会社もあります。

このような状況に対して、長野県として対応、支援等をお考えいただけませんか？

長野県や各自治体からの工事発注時において状況に応じた発注条件（価格等）についてはどのようなご指示になっているのか？

また今後改善いただけるような余地はないのかについてもお願いします。

### 長野県建設部 回答

・国土交通省では昨年8月、元請負人と下請負人間における「建設業法令遵守ガイドライン」を改訂し、原材料費等の高騰や資材不足などの理由により、施工に必要な費用の上昇、納期の遅延、工事全体の一時中止、前工程の遅れなどが発生しているにもかかわらず、追加

費用の負担や工期について元請負人が下請負人からの協議に応じず、必要な変更契約を行わなかった場合、建設業法第19条第2項に違反し、第19条の3又は第19条の5に違反するおそれがあるほか、同法第28条第1項第2号に該当するおそれがあることを示しました。

- ・また、昨年12月1日には、建設業者団体の長に対して下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等を要請する通知が発出されました。
- ・県に対しては、相談窓口の開設等により、下請契約に係る相談に応じ、適切な助言・指導を行う体制の充実等により、さらなる下請け契約及び下請代金支払の適正化及び施工管理の徹底、技能労働者の賃金水準の確保等に努めるよう要請がありました。
- ・県におきましては、会計局契約・検査課及び県下4地区の会計センターに建設工事の元請・下請に関する苦情相談窓口（下請110番）を開設し、相談者に関係法令等の遵守事項の説明を行うとともにトラブルの解決を求める場合には、建設工事紛争審査会、労働基準監督署、司法機関等の相談機関を紹介しています。
- ・県発注工事については、「長野県建設工事元請・下請関係適正化指導要綱」に基づき、元請・下請関係の適正化を図るため、遵守事項の趣旨の徹底や元請け人等に対する確認調査を実施し、必要な指導・助言を行うことにより、トラブルの未然防止を図っています。
- ・今年度上半期（4/1～9/30）は元請業者に対する調査107件、下請業者に対する調査81件を実施しています。
- ・引き続き、会計局と連携して、元請・下請関係の適正化に努めてまいります。

## 顧問県議と行政との懇談会

### 倉科理事長より

「長野県建設工事元請・下請関係適正化指導要綱」は平成15年3月13日発出のもので、すでに20年近くが経過しているが、元請け企業と我々下請け企業の格差(例えば従業員の年収)をきちんと把握して、それに対しての施策を行っているのか?

我々の施工に対して、図面決定、適切な施工指示、適切な価格で県の担当者に対応して頂きたい。(複数の方からのご意見)

### 長野県建設部 回答

元請・下請関係の適正化及び県工事の施工段階における適切な対応について検討してまいります。

### 青木運営委員長より

④令和9年(2027年)リニア中央新幹線開通、令和10年(2028年)国体の長野県開催など県としても各種インフラ整備についての転換点となることが予想されますが、長野県の今後の公共事業、大型の建設工事等の案件見通しについてお聞かせください。

### 長野県建設部 回答

・令和10年(2028年)開催予定の第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会の開・閉会式場及び陸上競技会場に予定されている「松本平広域公園陸上競技場」建替え事業については、現在、仮設建築物の建築工事及び旧競技場の解体工事を進めているところ です。

- ・来年度から新たな競技場の建設工事に着手を予定しており、令和7年度末完成を目指しています。
- ・教育委員会においては、これからの新しい学びを支える学習空間デザインやZEB化に対応した県立学校の整備を行う長野スクールデザインプロジェクトとして、県立高校の第二期再編に伴う小諸新高及び伊那新高の施設整備、並びに松本擁護学校、若槻擁護学校の施設整備に関する基本計画策定支援業務のプロポーザルを実施、最適候補者と委託契約し、現在、基本計画の策定が進められており、来年度から基本設計・実施設計に着手する予定です。
- ・また、特別支援学校の児童生徒数の将来推計を踏まえ、伊那養護学校、諏訪養護学校等の5校の養護学校において教室棟増築工事の設計を今年度実施しており、来年度以降、工事に着手する予定です。
- ・今後、教育委員会と連携しながら施設整備に関する発注等を行っていきたいと考えております。
- ・県警本部においては、飯田警察署の建替えに合わせ南信運転免許センター(仮称)を風越公園一帯で整備する方針が示されており、今年度から建設予定地の地盤調査の実施を予定しています。
- ・こちらも今後、県警本部からの情報提供を受け、連携して施設整備に係る発注を行っていきたいと考えております。

## 顧問県議と行政との懇談会

### 倉科理事長より

これらの公共工事について、地元企業に適正な価格、工期等の条件をもって発注して頂けるような施策を具体的に示して頂きたい。

### 長野県建設部 回答

引き続き、適切な工事発注となるよう努めてまいります。

### 青木運営委員長より

※我々業界と顧問県議、長野県建設部の皆様とは長い間にわたり懇談会の開催をいただいておりますが、年1回のためなかなかお互いの意思疎通や成果等が見えない状況にあると思います。

今後実りあるものとするため複数回または随時の機会をいただけるようご検討をいただけないでしょうか？ オンラインや文書でのやり取りでも良いかと思えます。

### 長野県建設部 回答

- ・ 懇談会につきましては、年1回にこだわらず、時折の課題に応じて適宜開催するようにしていければと考えております。
- ・ 近年は、オンライン会議も一般化しており、ご提案のように集合開催だけでなくオンライン会議や文書でのやりとりにより時宜に適った適切な情報交換、意見交換を実施してまいりたいと考えておりますので、開催時期や開催方法についてご相談させていただきたいと思えます。

### ◎組合より今後について

一年1回の議論でなく、継続した取り組みをお願いしたい。

組合としても要望するだけでなく、県の様々な取り組みに対して協力もさせて頂きたい。

## 組合表彰者の紹介

### 【組合表彰】

受賞該当者なし

### 【令和4年度 職業能力開発促進功労者表彰】

表彰式 令和4年11月1日(火)「長野ホテル犀北館」

◎職業能力開発協会長感謝状受賞者(技能検定補佐員)

井出 国雄 様 (有)井出鉄工

高木登志郎 様 フィット工業(株)

### 【国土交通省 令和4年秋の叙勲】

国土交通省より11月3日付にて「令和4年秋の叙勲」受章者が発表され、鉄構関連から元長野県鐵構事業協同組合理事長の倉科季男氏が専門工事業振興功労により旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。

旭日双光章 倉科 季男 様 (株)倉科鐵工所 会長



## 組合員だより

### 東信支部組合員だより



東信支部  
坂尻 正信  
(株)三協産業

弊社のある青木村では一月の2週目の週末にどんど焼き、消防出初式があり、先日一連の新年行事も終わり、お正月気分も抜けて日常生活が始まりました。

青木村では人口減少や若い人たちの多くが村外に勤めている事もあり消防団員の確保が難しいと以前より問題になっており、定年延長をしたり条例改正により団員の定数を300人から250人へ変更したりと工夫をしてこられました。それでも団員が足りないという事で村内企業に協力要請があり、平成30年に機能別消防団という組織が発足をしました。

弊社も青木村からの要請に応える形で現在4名の村外在住の従業員が青木村消防団員として登録をしています。

活動内容は現役の消防団員が村外の勤務先から火災現場へ到着するまでの交通警備やホース類の準備というところで、消防署

員や団員が到着し人数が足りれば仕事に戻るといったような流れです。また、年に1回程度地元分団との訓練も計画されています。(コロナの影響で実際に訓練を行った経験はありませんが)

最近では多くの自治体で消防団員の不足や消防団の必要性というものが議論をされています。前時代的な組織運営にも問題があり各所で問題になっていることは皆さんもご存じかと思います。

消防団関係のニュースを耳にする度にその自治体に合ったニーズや組織運営に変えていくことが必要な時期に来ているのだと感じます。

各企業でも同じように人員不足に悩み人員確保の為に色々な工夫をされている事かと思えます。働き方改革が唱えられて以降、様々な勤務形態を耳にするようになりました。

時代のニーズに合わせた組織運営を心掛けて先行き不透明な時代を乗り越えていきたいものです。



## 理事会、委員会だより



### 正副常任理事会、理事会、各委員会開催状況

(自 令和4年7月1日～至 現在分)

日 時	会 議 名	場 所
令和4年 7月13日	50周年記念誌正副運営委員打合	長野市「組合事務所」
〃 7月22日	運営委員会	長野市「組合事務所」
〃 7月27日	50周年記念事業打合せ会	長野市「組合事務所」
〃 9月29日	常任理事会・50周年実行委員会	長野市「組合事務所」
〃 10月4日	青年部 役員会	長野市「組合事務所」
〃 10月14日	技術委員会(鉄工)	上田市 「そば茶や 生島の杜」
〃 10月18日	Mグレード部会 幹事会	長野市「組合事務所」
〃 10月28日	技術委員会(とび)	松本市「仙岳」
〃 11月17日	運営委員会	長野市「組合事務所」
〃 11月21日	理事会	長野市「組合事務所」
〃 11月29日	Mグレード部会 幹事会	長野市「組合事務所」
〃 12月2日	青年部役員会	中野市「(有)アオキビルド」
〃 12月22日	50周年実行委員会	長野市「組合事務所」
令和5年 1月25日	顧問県議と行政との懇談会	長野市「ホテル犀北館」

## Mグレード部会だより



長野県Mグレード部会  
部会長 奥村 剛  
(有)長野奥村製作所

昨年は、ロシアによるウクライナへの侵攻、新型コロナ、円安などの影響で材料費や電気代などが値上りして、大変厳しい年になりました。今年も、さらに値上がりする可能性があり、経営をより圧迫する恐れがあります。また、以前から続く人手不足も、行動制限の緩和による経済活動再開などの影響もあり、より深刻になっております。

長年、鉄骨業界では機械化・自動化を図ってきておりますが、鉄骨を製作するに

は、鉄骨が大量生産される規格化された工業製品でないため、多くの熟練した人材が必要なのと、設計変更や工期のずれが以前にも増して頻繁に起こっているためさらに多くの人材が必要な状況になっており、人材確保は重要な課題になっております。

今、人材確保は厳しい状況ではありますが、生産性を向上させながら長時間労働や待遇の改善を行って業界の魅力を高め、様々なところに人材紹介を依頼したり、多様な働き方を取り入れるなどして、多くの方に鉄骨の仕事にやりがいを感じて鉄骨業界に入ってもらえるよう取り組んで行く必要があるかと思っております。

今後、Mグレード部会では、コロナ感染拡大防止を図りながら、会員の皆様に情報と交流の場を提供してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 青年部会だより



青年部会  
副会長 中嶋 秀幸  
(株)中島鐵工所

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られていました青年部通常総会が数年ぶりに開催され、例年とは違ったスタートを切ることができましたが、感染状況が衰えること無く、制限を受けながら試行錯誤した青年部活動となりました。

その中でも、2017年より始まった活動事業で「ノズルとチップ」を回収し、各都道府県で換金・集金し、集まったお金で車を施設へ寄贈させて頂いている事業に各社で協力することができ、また2月には研修・親睦事業も予定されており、親睦をより一層深め、学びの場を有効に活用できればと思っております。

引き続き、人材不足・働き方改革など先行きが不透明な状況ですが、親睦活動・研修活動を通して長年育んできた仲間との繋がりや信頼・交流をさらに大切にし、困っている時に助け合える仲間・相談できる仲間がいる。と感じてもらえる青年部になる様、活動していければと思います。



## 工場認定申請及び予定状況

工場数：66(内認定工場：49／認定工場：17)(2023年1月1日現在)

○令和4年度(2022年)後期の認定申請工場は5社でした。

内訳	Sグレード	0社	Hグレード	0社
	Mグレード	5社	Rグレード	0社

○令和5年度(2023年)前期の認定申請予定工場は5社です。〔前期申請受付4月〕

内訳	Sグレード	0社	Hグレード	0社
	Mグレード	3社	Rグレード	2社

堀金工業株式会社、有限会社浦野、有限会社富島鉄工所  
有限会社岡本鉄工所、マルムツ建工株式会社

性能評価申請書、各グレード別 基準類が新しくなっております！ 2022年2月改定

### ◎申請書

株式会社 全国鉄骨評価機構ホームページからダウンロードしてください。

### ◎基準額(工作基準、検査基準、製作要領書作成基準、外注管理基準)

一般社団法人 全国鐵構工業協会ホームページ(会員専用コーナー)よりダウンロード  
〔HP会員コーナー ⇒ 技術情報 ⇒ 鉄骨製作工場の基準マニュアル集はこちら〕

## 申請先、申請受付期間、申請方法

### ◎申請先

組合事務所 (申請工場 ➡ 組合事務局 ➡ 全国鉄骨評価機構)

### ◎申請書受付

・前期／4月中 ・後期／10月中

### ◎申請方法

株式会社全国鉄骨評価機構 HP より性能評価申請書をダウンロードして頂き、  
組合事務局へ申請書(エクセルデータ)をメールにて送付してください。

## 工場認定申請

### 申請書類の電子化

2021年後期申請より電子申請に変わっております。(Excel データを組合へメール送付)

申請工場が作成する『性能評価申請書類』は、添付資料を含めた一式を新様式のExcelにまとめ、このエクセルファイルに記載頂いた電子データを最終的には全鉄評に提出となります。エクセルファイルの申請書データを組合事務局にメール送付して頂き、確認修正を行った後、事務局から全鉄評へ提出させていただきます。

### 審査書類の事前送付

〔基準類資料〕①工作基準、②検査基準、③製作要領書作成基準、④外注管理基準

2021年度より新型コロナウイルス感染拡大防止策と、工場審査における当日の書類審査時間の短縮と効率化として基準類資料の評価員・調査員への2週間前の送付と、評価員・調査員による事前確認の取り組みが行われています。実際に全国的に審査時間の短縮効果もあり、今後も継続していく流れのようです。申請工場に於いては事前送付の為に準備期間が前倒しとなって大変かと思いますが、ご協力宜しくお願い致します。基準類の資料は、評価員に2週間前に送付できるよう、それ前に組合事務局宛に送付お願い致します。事務局より評価員・調査員に送らせて頂きます。

## 組合員の動き NOW

現在組合員数は 66 社です。

- 北信支部 18 社
- 東信支部 11 社
- 中信支部 18 社
- 南信支部 19 社

(2023年1月1日現在)

Total  
66



# 令和4年度前期技能検定について

## 令和4年度 前期 技能検定 試験結果

職種：鉄工 作業名：構造物鉄工

総合合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
1級	学 科	9 / 11	82%	>	79%	86%
	実 技	9 / 21	43%	<	64%	27%
	技 能 士	10 / 23	43%	<	60%	32%
2級	学 科	10 / 16	63%	<	80%	95%
	実 技	14 / 28	50%	>	38%	55%
	技 能 士	12 / 28	43%	>	34%	60%

※現図講習会の合格者数は学科・実技片方、両方合格者を含みます。  
 ※各技能士受講者数には実技・学科の片方科目のみ受講者を含みます。  
 ※講習会受講者は実技学科両方受講する予定で、当日どちらか欠席していれば片方のみへカウントしております。  
 ※講習会非受講者は、実技学科両方または実技のみ・学科のみ受講を全くしていない者とし、講習会当日欠席者も含みます。

講習会受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
1級	現 図	3 / 4	75%	<	80%	80%
	実技学科両方	1 / 4	25%	<	63%	31%
	学科のみ	2 / 2	100%	>	0%	100%
	実技のみ	3 / 5	60%	<	100%	67%
	技 能 士	6 / 11	55%	<	70%	44%
2級	現 図	2 / 2	100%	=	100%	50%
	実技学科両方	2 / 3	67%	>	0%	80%
	学科のみ	1 / 1	100%	=	100%	0%
	実技のみ	5 / 7	71%	>	67%	86%
	技 能 士	6 / 11	55%	>	50%	59%

講習会非受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
1級	実技学科両方	1 / 1	100%	>	0%	20%
	学科のみ	0 / 1	0%	<	50%	0%
	実技のみ	3 / 10	30%	<	57%	0%
	技 能 士	4 / 12	33%	<	42%	10%
2級	実技学科両方	1 / 5	20%	=	11%	50%
	学科のみ	0 / 0	0%	<	67%	100%
	実技のみ	5 / 12	42%	<	67%	33%
	技 能 士	6 / 17	35%	>	20%	63%

職種：とび 作業名：とび

総合合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
1級	学 科	39 / 55	71%	<	80%	78%
	実 技	31 / 54	57%	<	85%	76%
	技 能 士	27 / 60	45%	<	73%	73%
2級	学 科	7 / 9	78%	>	40%	60%
	実 技	4 / 7	57%	>	50%	75%
	技 能 士	6 / 10	60%	>	33%	40%

※各技能士受講者数には実技・学科の片方科目のみ受検、片方科目の受検免除者を含みます。  
 ※講習会受講者には実技学科両方受講予定で当日どちらか欠席していても、片方科目を受講した者も含みます。  
 ※講習会非受講者は実技学科両方または実技のみ、学科のみを全く受講していない者とし、また、実技のみ、学科のみ片方科目のみ受講予定で講習会当日欠席した者も含みます。  
 ※県内受検者のみ掲載しております。

講習会受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
	実技学科両方	17 / 39	44%	<	89%	85%
	学科のみ	3 / 4	75%	>	71%	33%
	実技のみ	2 / 12	17%	<	90%	67%
	技 能 士	25 / 55	45%	<	87%	71%
	実技学科両方	2 / 5	40%	<	100%	50%
	学科のみ	2 / 2	100%	>	0%	0%
	実技のみ	0 / 0	0%	=	0%	0%
	技 能 士	3 / 7	43%	<	100%	50%

講習会非受講者合格率						
職種/級	科目	合格者数 / 受験者数	合格率	前年度 との比較	R3年度 合格率	H31年度 合格率
1級	実技学科両方	0 / 2	0%	<	20%	0%
	学科のみ	0 / 2	0%	<	50%	100%
	実技のみ	1 / 1	100%	>	50%	100%
	技 能 士	1 / 5	20%	<	33%	100%
2級	実技学科両方	0 / 0	0%	=	0%	0%
	学科のみ	2 / 2	100%	=	100%	0%
	実技のみ	1 / 1	100%	>	0%	0%
	技 能 士	3 / 3	100%	>	14%	0%

## 組合からのお知らせ ⓘ

### 組合創立50周年記念

長野県鐵構事業協同組合は、昭和48年2月に長野県鉄骨協会を母体とし、県下各地域の組織をまとめ設立され、昭和60年には事業協同組合へと改組、本年通算50周年を迎えました。

組合創立50周年を記念しまして実行委員会を立上げ、現在5月の総会に併せて記念式典を開催するべく準備しております。更に式典後には記念誌の発行も運営委員会で予定しております。組合員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

#### 50周年記念式典

- 開催日 令和5年5月26日(金)
- 開催場所 ホテルメトロポリタン長野

#### 50周年記念誌の発行

- 令和5年11月頃の発行に向け編集



○訃報 ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

(株)宮入鉄工所	代表取締役	宮入 豊一 様	令和4年8月15日 79歳にてご逝去されました。
(株)伊藤組	取締役会長	伊藤 育雄 様	令和4年11月10日 71歳にてご逝去されました。
マルムツ建工(株)	代表取締役	黒岩 睦男 様	令和4年12月26日 85歳にてご逝去されました。
松田鐵工(株)	代表取締役	松田 健一 様	令和5年1月23日 80歳にてご逝去されました。



## 編集にあたって

2023年も1ヶ月が過ぎ、ロシアによるウクライナ侵攻から1年が経ちました。納期、価格において不安定だった鋼材事情が、今年の出来事により更に拍車が掛かりました。

身近な生活の中においても今現在、資源高と円安による物価上昇、値上げラッシュが続いており、多くの方が困窮しております。

そんな中ですが、ようやくコロナ禍の終息が見えてきました。5月には2類相当から5類に引き下げられることが決まり、社会生活において様々な制限から解放されます。

今年は50周年記念式典が開催されます。その頃にはマスクは不要、アクリル板は撤廃されていることでしょう。

運営委員長  
(株)青木鐵工所 青木 光幸

## 表紙のことば

松本市では冬の3か月間、市街地において温かい光が灯るイルミネーションが行われていて、千歳橋から松本城公園へと続く街路樹の電飾が夜の街を鮮やかに彩ります。

松本のシンボル松本城は、ご存じの通り現存する天守の中で日本最古の国宝です。その国宝松本城を舞台に投射される光と音で織りなすレーザーマッピングは普段とは違った幻想的な空間を演出しています。よろしければこの機会に是非ご覧ください。



写真提供者  
(有)一陽鐵建社 横澤 直人

# 安全・安心

建築鉄骨は品質保証の時代



当組合のNTKマークが安全・安心の目印です。

## 長野県鐵構事業協同組合

長野市吉田5丁目1-27 日新パークビル3階 TEL026-262-1595 FAX026-262-1597